

事業実施報告書

法人名 認定 NPO 法人森の ECHICA

事業名	吉田地域環境整備事業
枠の種類	ネーミング事業
分野	(株)富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業
①事業の目的・この事業で取り組んだ課題	<p><事業の目的> 棕神社周辺の整備がされず放棄された土地の環境整備を行い、人の往来を取り戻す。</p> <p>秩父市吉田にある棕神社周辺には川があり、かつては川の反対側から橋をかけ歩いて往来が出来る道があり、お茶の栽培や耕作地として活用され、里山として保全されていた。しかし少子高齢化による過疎化が高まり、耕作放棄地や整備が行われず荒れた森になっている。野鳥や野生の生き物が生息する藪も残しつつ、荒れた森を間伐し下草を刈り、見通しがよく安全に通れる道を作り、人々の往来を取り戻し、自然を身近に楽しめる活動場所にする。</p> <p><取り組んだ課題> 秩父地域は豊かな自然が残っているが、その中で自然体験をして育つ子どもが減少してきている。豊かな自然が残っていても高齢化により整備されずに荒れ果てた土地が多くなっており、地域住民同士の世代間交流も減少し孤立化してきている。人間も自然の一部であるという環境観の欠如が昨今の様々な環境・社会問題の要因の 1 つであると考え。思うようにならない自然界の営みの中、のびのびと子育て親育ち出来る環境作りとそれを見守る地域社会作りが課題となっている。</p>
②課題を解決するため、取り組んだ個々の事業	<p>荒れた土地を整備し、人が往来できるような道を作ることで、地域の人達の往来が可能となり、利便性や外に出て自然を楽しむ機会が増え精神的安定をもたらしたり、先が見通せず危険な場所が見通しのいい場所になることで安全性が保たれる。事業を発展させ、人の往来だけでなく、地域の人々が交流出来る場所として活用するために、地域の人と共に環境整備を行うべく、まずは環境整備をする為に必要な技術を学ぶ為、講習会を 5 回開催し、作業日を 15 回実施した。</p>

③個々の事業の
内容・実施結果

○講習会

(1)「チェーンソー講習会」

9月27日(日) 9:00~15:00 (途中1時間休憩あり)

秩父市下吉田7107、7116、7119 周辺

講師 若山 卓氏(空師)

対象者 中学生以上

参加人数 16名(目標20名)

内容:チェーンソーを安全に使うためにチェーンソーの構造や手入れの仕方について学ぶ。実際にチェーンソーを使って、玉切りをし、薪を作る。

(2)「みんなの森作り講習会」

10月25日(日) 9:00~15:00 (途中1時間休憩あり)

秩父市下吉田7107、7116、7119 周辺

講師 若山 卓氏(空師)

対象者 中学生以上

参加人数 13名(目標20名)

内容:森と間伐について学ぶ、チェーンソーで間伐に挑戦する

(3)「遊歩道作り講習会」

11月28日(土) 9:00~15:00 (途中1時間休憩あり)

秩父市下吉田7107、7116、7119 周辺

講師:若山 卓氏(空師)

対象者:中学生以上

参加人数 20名(目標20名)

間伐した森から川へ続く遊歩道の整備とその材料作りをする

(4)「ベンチ作り講習会」

12月6日(日) 9:00~15:00 (途中1時間休憩あり)

秩父市下吉田7107、7116、7119 周辺

講師:小澤 正紀氏(建具職人)

対象者:幼児以上(幼児は親子同伴で参加)

参加人数 30名(目標20名)

内容:間伐材を利用してベンチ作りをし、間伐した森に休憩場所を作る

(5)「遊歩道作り講習会 part 2」

1月30日(土) 9:00~15:00(途中1時間休憩あり)

秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

講師:若山 卓氏(空師)

対象者:中学生以上

参加人数 28名(目標20名)

前回11月28日の続き、危険な倒木の間伐し、遊歩道の材料を作り間伐した森から川へ続く遊歩道の整備をする。

○草刈り作業:秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

- (1) 7月27日(日) 参加人数 6名
- (2) 8月9日(日) 参加人数 11名
- (3) 9月6日(日) 参加人数 7名
- (4) 9月13日(日) 参加人数 67名
- (5) 11月8日(日) 参加人数 51名
- (6) 12月25日(金) 参加人数 1名
- (7) 1月6日(水) 参加人数 1名

○薪作り作業:秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

- (1) 1月14日(木) 参加人数 1名
- (2) 1月22日(金) 参加人数 1名
- (3) 1月26日(火) 参加人数 1名
- (4) 2月3日(水) 参加人数 1名

○間伐材の玉切り・運搬・薪作り作業

秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

- (1) 2月7日(日) 参加人数 33名
- (2) 2月20日(土) 参加人数 28名

○間伐材の運搬作業:秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

2月8日(月) 参加人数 1名

○間伐材の運搬・薪作り作業:秩父市下吉田 7107、7116、7119 周辺

2月24日(日) 参加人数 2名

○調査

- (1) 7月27日(日)

- (2) 8月25日(火)
- (3) 9月27日(日)
- (4) 10月25日(日)

現状を記録し、どのように森と道を再生していくか打ち合わせ

時期	
7月	下見を行い、全体計画について打ち合わせ 講習会開催に向けた打ち合わせ 講師との打ち合わせ 備品購入のための打ち合わせ どんな森にしたいかアンケート調査 草刈り作業(1回)
8月	森再生計画発表 「チェーンソー講習会」「みんなの森作り講習会」打ち合わせ 草刈り作業(1回) コロナ対策について打ち合わせ 現地調査(1回目) どんな森にするのか決定 「自然と共存し吉田地域の人が気持ちよく過ごせる多世代の森」
9月	「チェーンソー講習会」「みんなの森作り講習会」チラシ作成、配布、掲示、法人ホームページ、SNS 掲示 「チェーンソー講習会」開催 草刈り作業(2回) 現地調査(2回目)
10月	みんなの森作り講習会」開催 「遊歩道作り講習会」「みんなの森ベンチ作り講習会」打ち合わせ 現地調査(3回目)
11月	「遊歩道作り講習会」「みんなの森ベンチ作り講習会」チラシ・ポスター作成、配布、掲示 法人ホームページ、SNS 掲示 「遊歩道作り講習会」開催 草刈り作業(1回) 中間報告書作成
12月	「みんなの森ベンチ作り講習会」開催

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="501 264 740 315"></td> <td data-bbox="740 264 1361 315">草刈り作業（1回）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 315 740 414">1月</td> <td data-bbox="740 315 1361 414">草刈り作業（1回）薪作り作業（3回） 間伐材製材作業（1回）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 414 740 696">2月</td> <td data-bbox="740 414 1361 696">間伐材運搬作業（1回） 間伐材の玉切り・運搬・薪作り作業（2回） 間伐材の製材・玉切り・運搬作業（1回） 薪作り作業（1回） 結果取りまとめ 報告書作成</td> </tr> </table> <p>○広報実績について</p> <p>9月 チラシ作成、配布、掲示 吉田地域回覧板で告知 法人ホームページ、SNS 掲載 秩父農工科学高等学校森林学科への協力依頼・募集</p> <p>11月 チラシ・ポスター作成、配布、掲示 秩父地域セイムス3店舗にポスター掲示 法人ホームページ、SNS 掲載 秩父農工科学高等学校森林学科への協力依頼・募集 小鹿野高等学校への協力依頼・募集</p> <p>12月 チラシ・ポスター作成</p> <p>1月 チラシ・ポスター配布、掲示 前回までの参加者に協力依頼・連絡</p>		草刈り作業（1回）	1月	草刈り作業（1回）薪作り作業（3回） 間伐材製材作業（1回）	2月	間伐材運搬作業（1回） 間伐材の玉切り・運搬・薪作り作業（2回） 間伐材の製材・玉切り・運搬作業（1回） 薪作り作業（1回） 結果取りまとめ 報告書作成
	草刈り作業（1回）						
1月	草刈り作業（1回）薪作り作業（3回） 間伐材製材作業（1回）						
2月	間伐材運搬作業（1回） 間伐材の玉切り・運搬・薪作り作業（2回） 間伐材の製材・玉切り・運搬作業（1回） 薪作り作業（1回） 結果取りまとめ 報告書作成						
<p>④個々の事業の実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>(1) 環境整備の為の技術力向上の為の講習会</p> <p>①「チェーンソー講習会」参加人数 16名（目標20名）</p> <p>○事業成果</p> <p>アンケート回収率 50%</p> <p>理解度 高評価100% 中評価 0% 低評価 0%</p> <p>技術習得度 高評価 50% 中評価50% 低評価 0%</p> <p>満足度 高評価100% 中評価 0% 低評価 0%</p> <p>②「みんなの森作り講習会」参加人数 13名（目標20名）</p> <p>○事業成果</p> <p>アンケート回収率 70%</p> <p>理解度 高評価100% 中評価 0% 低評価 0%</p> <p>技術習得度 高評価 50% 中評価50% 低評価 0%</p> <p>満足度 高評価100% 中評価 0% 低評価 0%</p>						

③「遊歩道作り講習会」参加人数 20名（目標20名）

○事業成果

アンケート回収率 90%

理解度 高評価 89% 中評価 11% 低評価 0%

技術習得度 高評価 50% 中評価 6% 低評価 39%

満足度 高評価 83% 中評価 17% 低評価 0%

④「ベンチ作り講習会」参加人数 30名（目標20名）

○事業成果

ベンチ6脚、テーブル2台製作した

アンケート回収率 60%

理解度 高評価 94% 中評価 6% 低評価 0%

技術習得度 高評価 83% 中評価 11% 低評価 6%

満足度 高評価 94% 中評価 6% 低評価 0%

⑤「遊歩道作り講習会 part 2」参加人数 28名（目標20名）

○事業成果

アンケート回収率 57%

理解度 高評価 100% 中評価 0% 低評価 0%

技術習得度 高評価 94% 中評価 0% 低評価 0%

未記入 6%

満足度 高評価 83% 中評価 0% 低評価 12%

(2) 環境整備の為の調査：「道の再生」「森の再生」

○事業成果

間伐した森へ続く続く道の間伐と遊歩道を作り、人の往来が可能になった。森を間伐し、光が入るようになり、明るく過ごしやすくなった。

(3) 環境整備

○草刈り作業：全7回実施、延べ参加人数 144名

○事業成果

子どもの背丈からでも周りが見通せるように下から15cm以内に下草を刈り、年間通してその状況を保てるように実施回数を増やした。

○間伐材の運搬等薪作りに関する作業

全8回実施、延べ参加人数68名

	<p>○事業成果</p> <p>丸太椅子5脚製作した。大ベンチ作製の為の製材作業まで完了した。薪山が8つ出来た（高さ0.7m×横12m）、（0.5m×5.5m）、（0.9m×3m）、（1m×2.5m）が3つ、（1.2m×8.5m）、（1.3m×7.5m）</p>
<p>⑤費用の工夫</p>	<p>消耗品費が予算として考えていたよりも増えた。その代わり、予算申請時より、より使いやすくコスト面も考慮して、購入備品を見直した為、消耗品費が増えても対応出来た。</p> <p>気温が高い時期は熱中症の心配や作業効率が低下するため、午前中の短時間に行った。</p>
<p>⑥地域社会への還元について</p>	<p>事業を実施し、近隣地域の方を含むいろんな方が協力して森の間伐と環境整備と遊歩道作りの活動が実施出来た。参加者は普段から林業に携わる方ではなく、初心者が多く、講習会で学んだ事は、今後自然と共に暮らしていく事を見つめ直すいい機械にもなった。</p> <p>興味を持って参加した森林学科の高校生は、コロナ禍で演習林での授業が減っていたようで、この事業により林業に携わる空師から学ぶ機会に喜んでいた。みなで汗を流しながら力を合わせる事で参加者同士の交流を深め、参加者の居場所となっていた。環境整備した森と遊歩道がまずは参加者の居場所として活用する事が出来た。地域の方を含む参加者が継続して活動出来、良い成果となった。</p>
<p>⑦今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>①自主性・自発性：たくさんの野鳥がさえずる林を守りながら、地域住民がより良く生きる場所へと再活性させる。</p> <p>②多様性：生息するいろんな命とその暮らしと共存できるよう、完全に整備するのではなく、自然のままの場所も残し、間伐を行う。間伐した材木を有効利用し、エネルギーや暮らしを循環する社会に変換する。</p> <p>③柔軟性・先駆性：荒れ地の整備、間伐で伐採した材木を使って、薪、地域子ども達が遊ぶ遊具や机・椅子に加工して利用し、自然の恩恵を余すことなく使い、循環出来る暮らしが出来る地域社会のモデルケースとなる。</p> <p>④地域のコーディネーター力：人が安心して往来出来る道を復活させ、地域の交流を広げる。</p>
<p>⑧事業の実施体制</p>	<p>○事業の実施について</p> <p>①総括責任者：葎田昭子</p> <p>②連絡責任者：神結裕美</p> <p>③現場責任者：大嶋八千代 補佐：久米谷浩子</p> <p>④経理担当者：神結裕美</p> <p>⑤広報担当者：瀬戸山いづみ</p>

⑨ 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか

事業を実施し、近隣地域の方を含むいろんな方が協力して活動出来た。来年度はこの輪をもっと広げ、実施体制を当団体だけでなく、地域の住民や自治会と連携して活動し、地域に根ざした活動に発展させ地域に還元していきたい。

環境整備した森と遊歩道が地域の方の交流場所として活用されると共に、間伐した材木を加工し、薪や加工品を作って地域に還元できる仕組みを作っていく。整備した場所を地域の人々が交流出来るようにイベント等の企画・実施し、事業を発展させていく。その為には整備した環境を維持していくために草刈りや間伐等危険な場所がないよう環境整備を定期的実施する。

【補足】

どんな森にしたいか賛助会員を中心にアンケート調査実施

・野鳥が多いので藪も残したい ・日向がほしい ・小さい子が遊べる・木陰がほしい ・休憩場所がほしい 等の意見をまとめた。

8月25日講師との現地調査を踏まえ、自然と共存し、何十年先も続く多世代の森を目指し、吉田地域の方が気持ちよく過ごせるような森作りをすることに決めた。

理想の森作りを達成するために、下記講習会を開催した。

9月27日チェーンソー講習会の実施

(チェーンソーの危険を理解し、技術習得の講習会)

10月25日みんなの森作り講習会の実施

(理想の森作りのために間伐する木の選定6本と3本の伐採作業)

11月8日下草刈り作業の実施

(残り3本の間伐の前に切り倒す方向の下草刈り作業を実施したが、作業後に想定以上に見通しがよくなり、蝶の集まるエノキ3本の伐採を見送る判断をし、自然と共存出来るよう、環境整備を実施している。)

11月28日遊歩道作り講習会の実施。

終了後に整備前よりも歩けるようになったが、階段の間隔が広く、歩きづらい事と、材料が足りないため、2回目の講習会を開催することになった。

1月30日遊歩道作り講習会 part 2 の実施。危険な倒木を間伐して、材料を調達し、階段の間隔を埋めて歩きやすい遊歩道作りを行った。